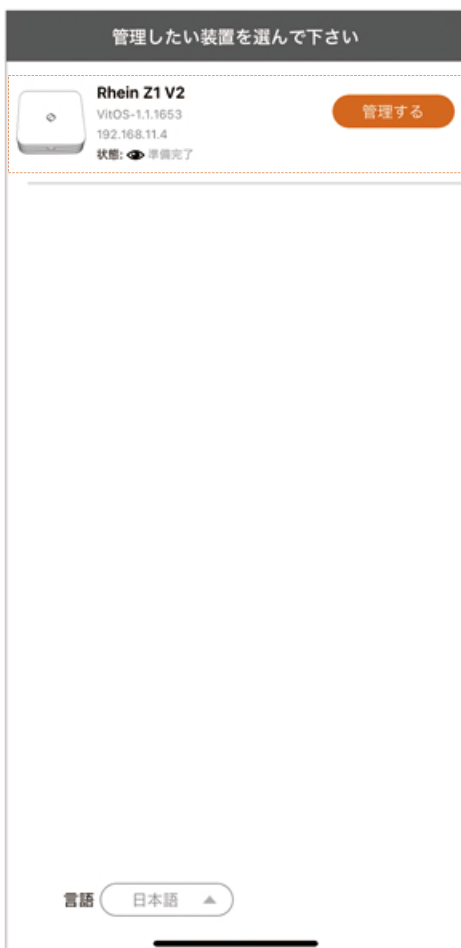




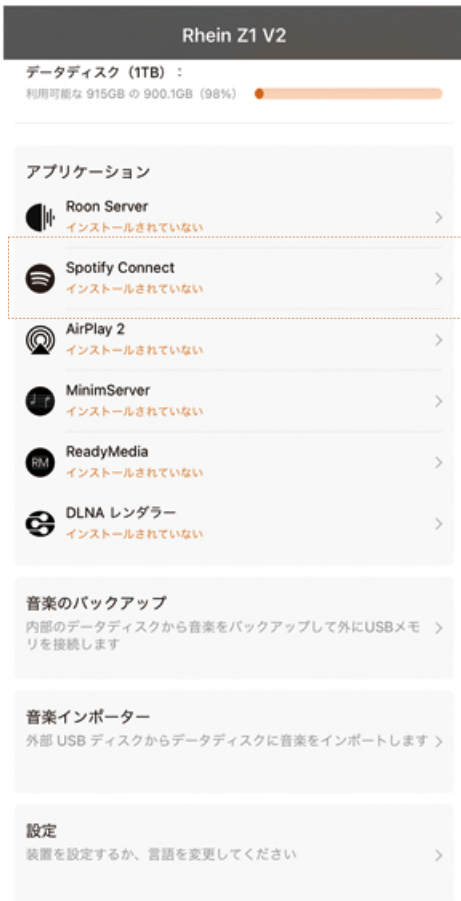
Spotify Connectの使い方

1: Z1にSpotify Connectをインストール

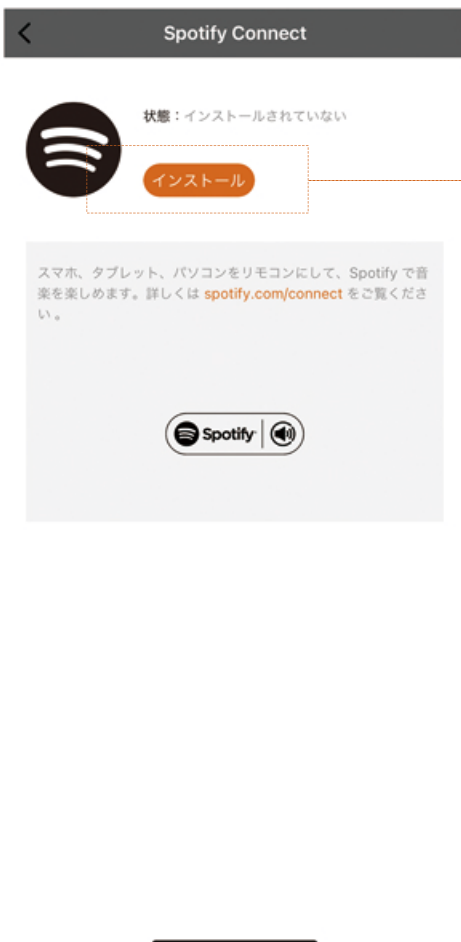
最初に、お使いのiOS/androidデバイスに“VitOS Manager”をインストールし、デバイスをZ1と同じネットワークに接続します。Z1の電源を入れ、“VitOS Manager”を開くと、次の画像のように、VitOS Manager上でZ1が見つかります。



“管理する”をタップします。

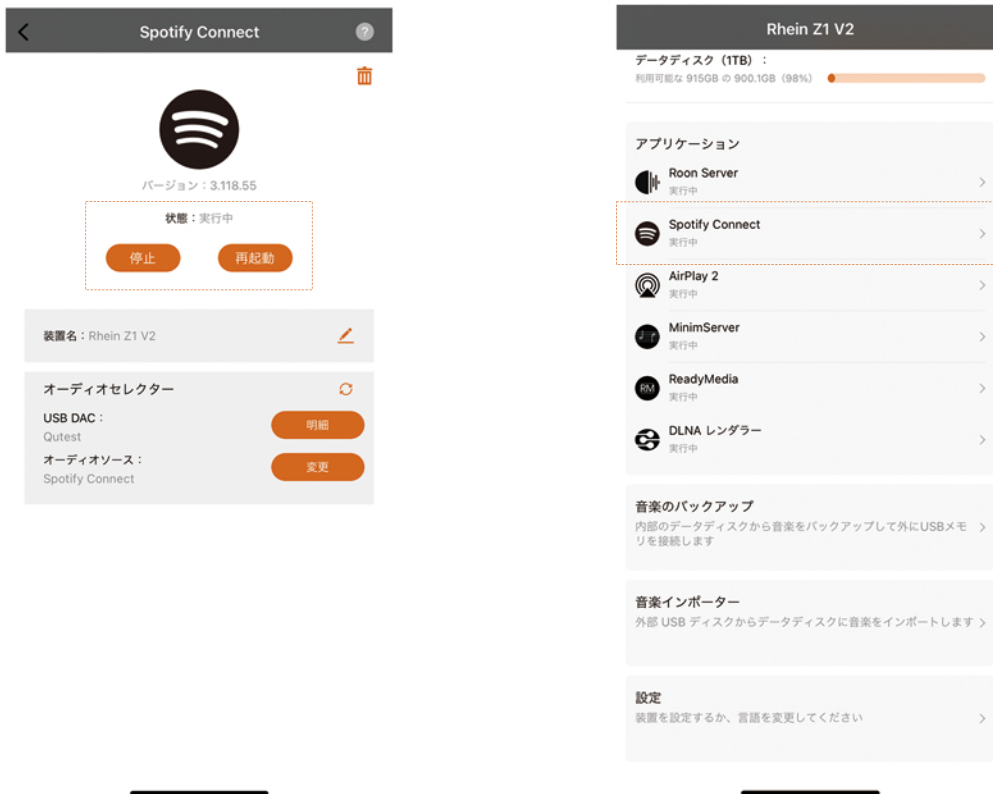


アプリケーション内の“Spotify Connect”をタップします。



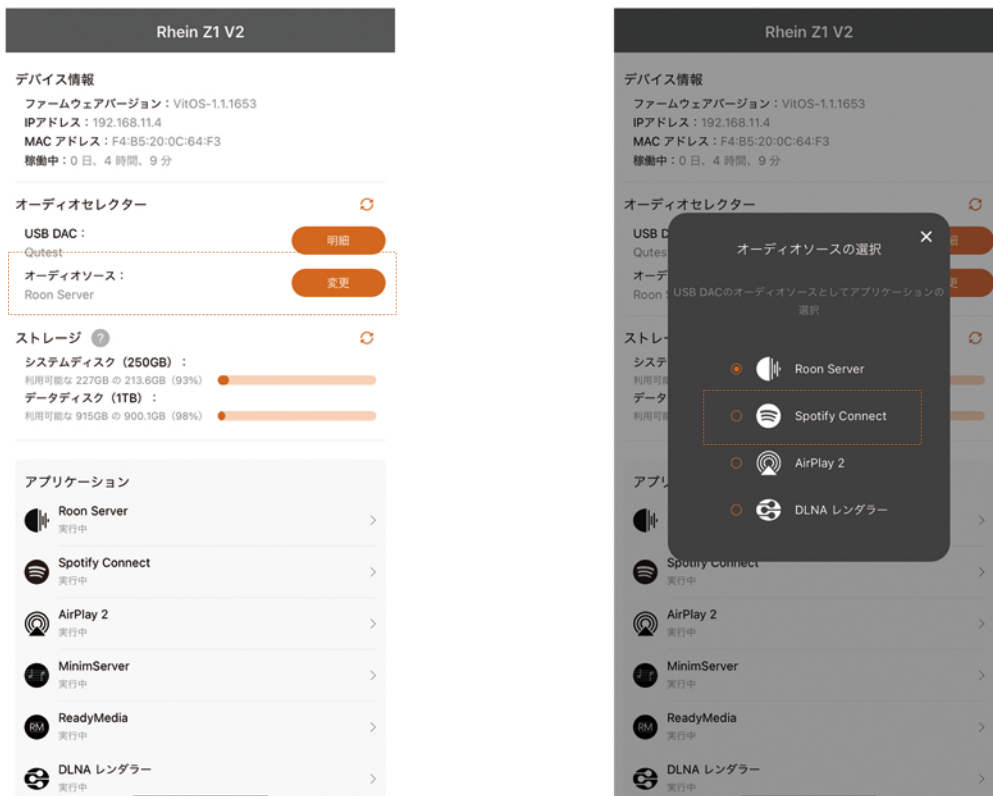
“インストール”をタップするとSpotify ConnectをZ1にインストールします。

インストールが終わると、下記画像の通り、Spotify Connectの状態が“実行中”になります。Spotify Connectページ、設定画面のトップページのどちらも実行中になります。これでSpotify Connectがインストールできました。



Spotify Connectを使用する前に、設定画面のトップページにある“オーディオソース”を“Spotify Connect”に変更してください。

※ファームウェアバージョン：1.2.4337以降では、オーディオソースの切り替えが自動になっているため、この操作は不要です。

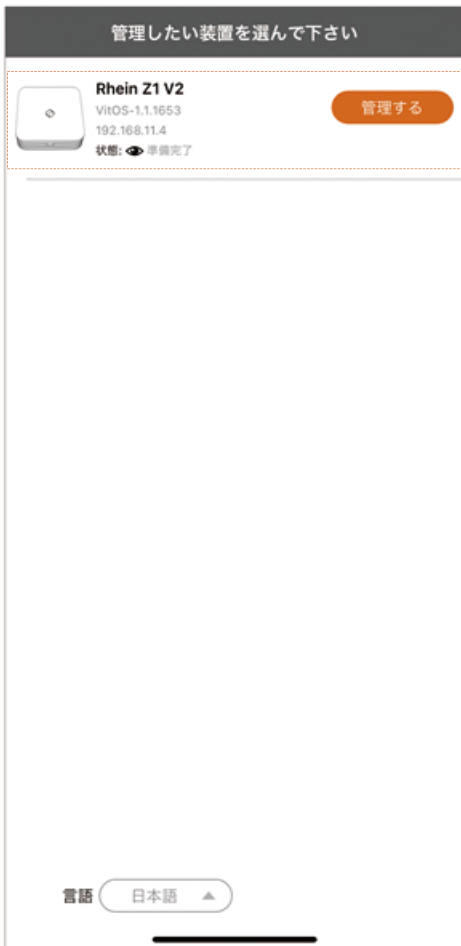




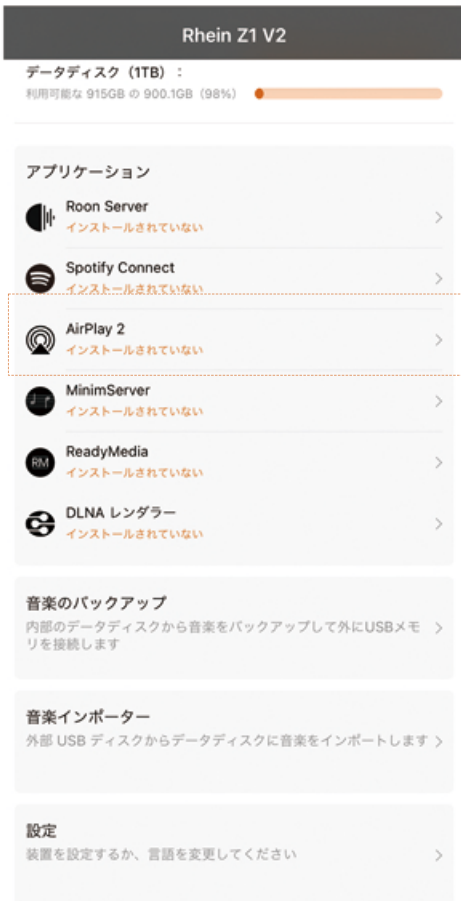
AirPlay 2の使い方

1: Z1にAirPlay 2をインストール

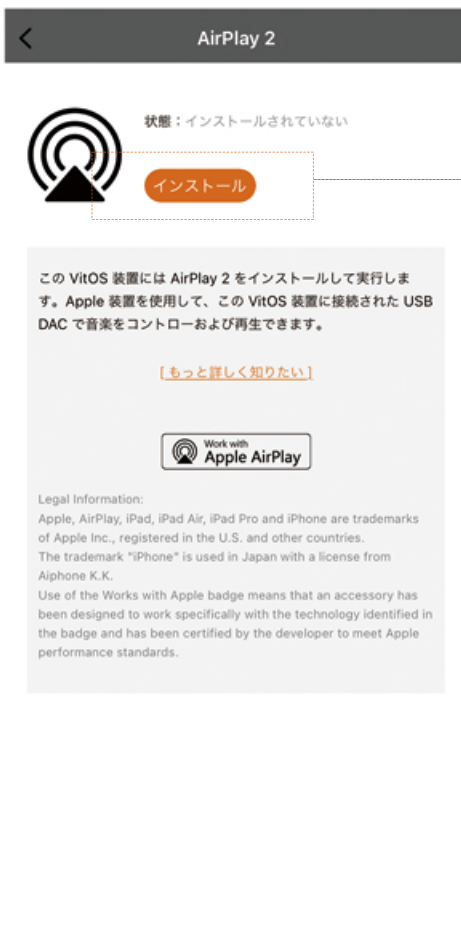
最初に、お使いのiOSデバイスに“VitOS Manager”をインストールし、デバイスをZ1と同じネットワークに接続します。Z1の電源を入れ、“VitOS Manager”を開くと、次の画像のように、VitOS Manager上でZ1が見つかります。この時、iOSは最新の状態にアップデートしておいてください。



“管理する”をタップします。

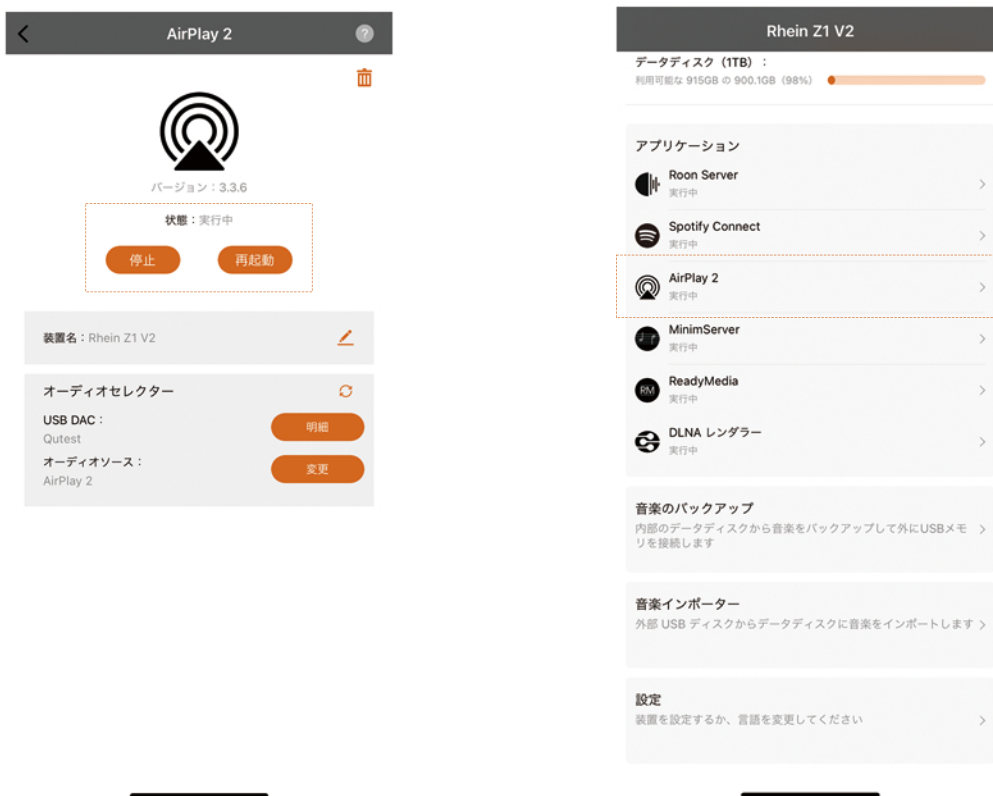


アプリケーション内の“AirPlay 2”を
タップします。



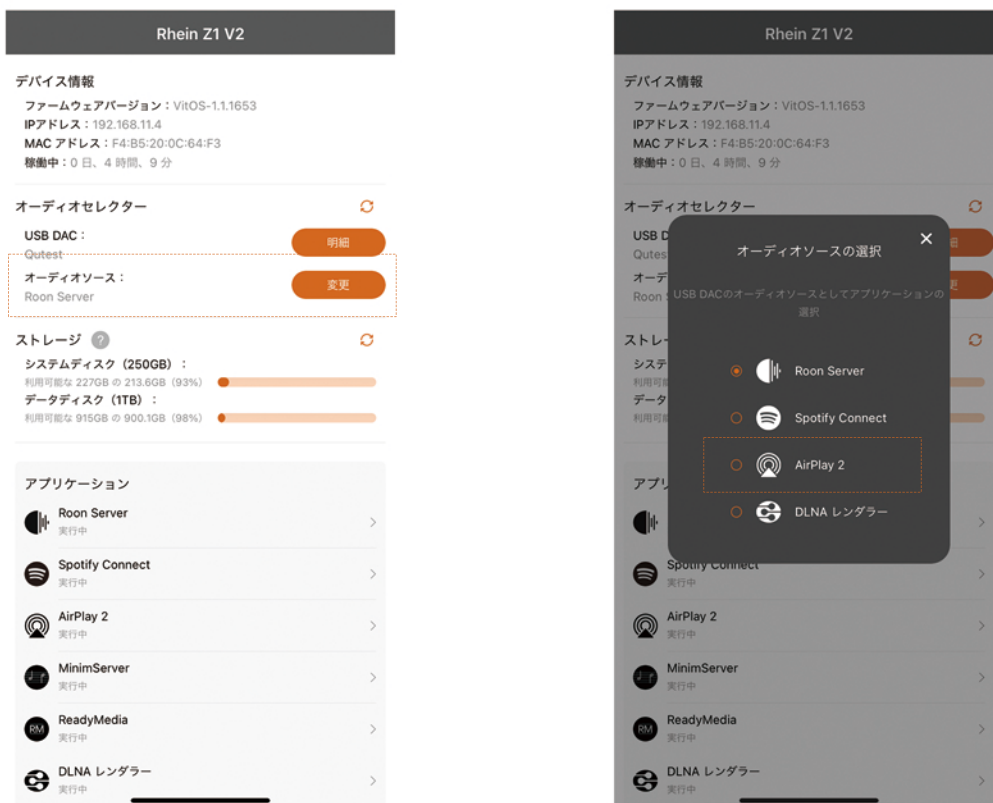
“インストール”をタップするとAirPlay 2
をZ1にインストールします。

インストールが終わると、下記画像の通り、AirPlay 2の状態が”実行中”になります。AirPlay 2ページ、設定画面のトップページのどちらも実行中になります。これでAirPlay 2がインストールできました。



AirPlay 2を使用する前に、設定画面のトップページにある”オーディオソース”を”AirPlay 2”に変更してください。

※ファームウェアバージョン：1.2.4337以降では、オーディオソースの切り替えが自動になっているため、この操作は不要です。

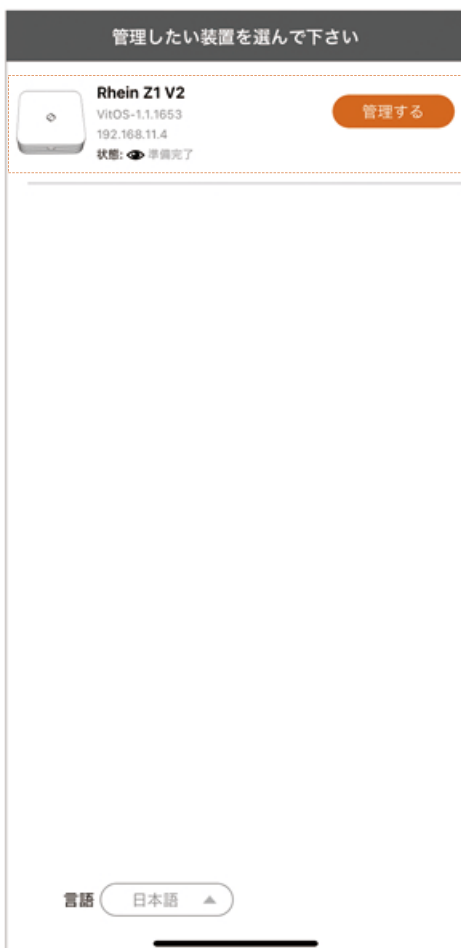




DLNAレンダラーの使い方

1: Z1にDLNAレンダラーをインストール

最初に、お使いのiOS/androidデバイスに“VitOS Manager”をインストールし、デバイスをZ1と同じネットワークに接続します。Z1の電源を入れ、“VitOS Manager”を開くと、次の画像のように、VitOS Manager上でZ1が見つかります。



“管理する”をタップします。

Rhein Z1 V2

データディスク (1TB) :

利用可能な 915GB の 900.1GB (98%)

アプリケーション

-  Roon Server
インストールされていない >
-  Spotify Connect
インストールされていない >
-  AirPlay 2
インストールされていない >
-  MinimServer
インストールされていない >
-  ReadyMedia
インストールされていない >
-  DLNA レンダラー
インストールされていない >

音楽のバックアップ

内部のデータディスクから音楽をバックアップして外にUSBメモリを接続します >

音楽インポーター

外部 USB ディスクからデータディスクに音楽をインポートします >

設定

装置を設定するか、言語を変更してください >

アプリケーション内の“DLNAレンダラー”をタップします。

< DLNA レンダラー



状態：インストールされていない

インストール

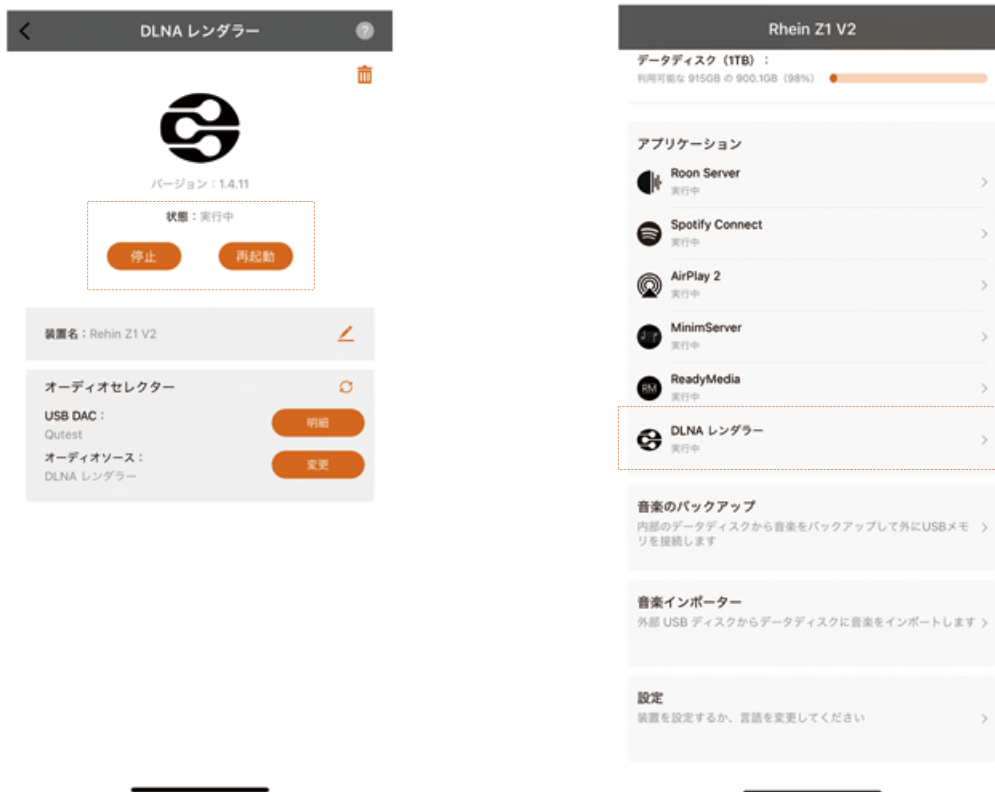
DLNA レンダラーは、DLNA / UPnP 標準と互換性のある音楽再生アプリケーションです。DLNA コントローラを使用して DLNA レンダラーを制御し、DLNA サーバでの音楽を再生できます。

[\[もっと詳しく知りたい\]](#)

[\[ビューライセンス\]](#)

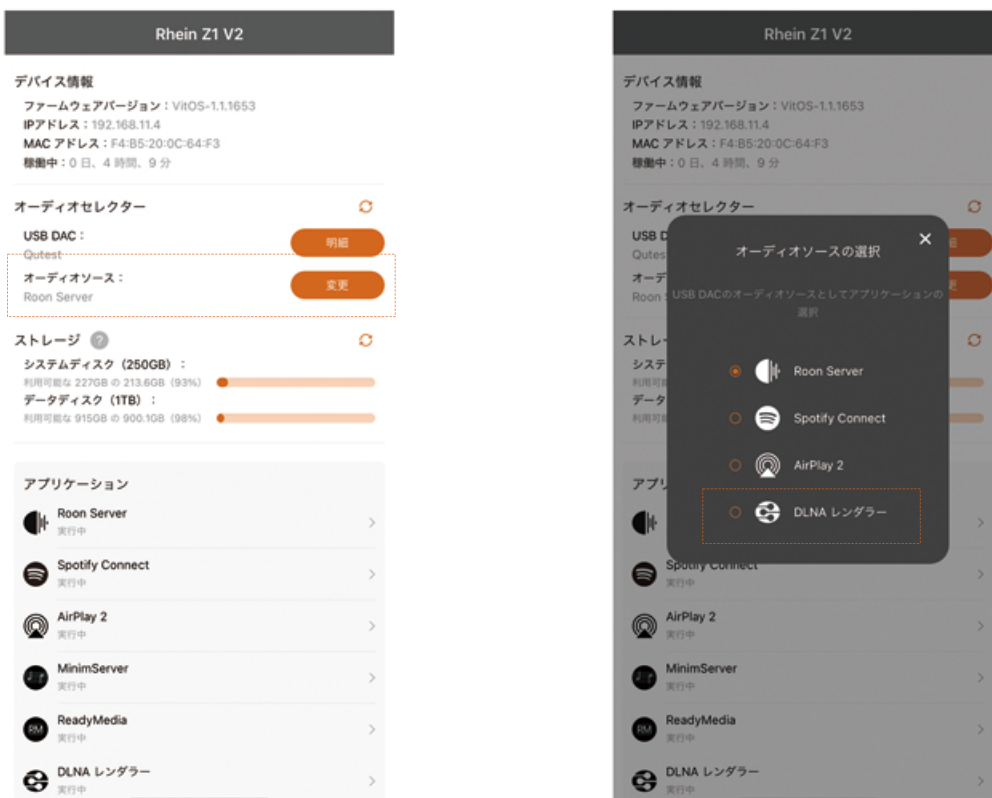
“インストール”をタップするとDLNAレンダラーをZ1にインストールします。

インストールが終わると、下記画像の通り、DLNAレンダラーの状態が“実行中”になります。DLNAレンダラーページ、設定画面のトップページのどちらも実行中になります。これでDLNAレンダラーがインストールできました。



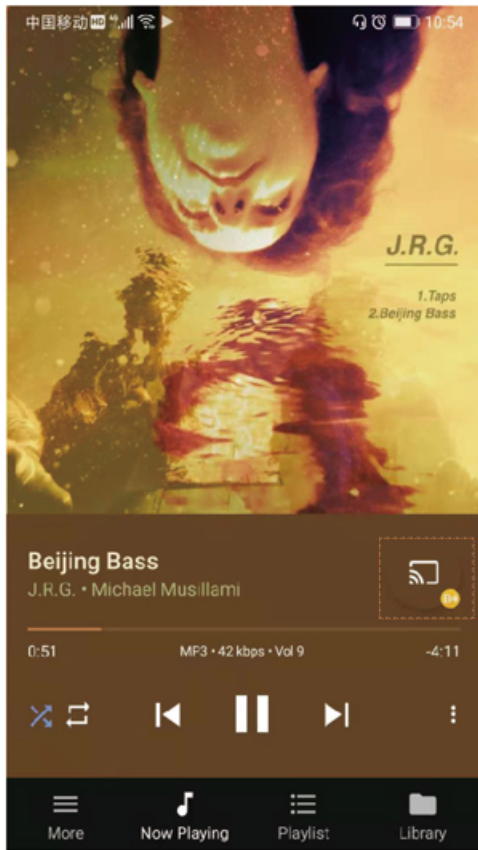
DLNAレンダラーを使用する前に、設定画面のトップページにある“オーディオソース”を“DLNAレンダラー”に変更してください。

※ファームウェアバージョン：1.2.4337以降では、オーディオソースの切り替えが自動になっているため、この操作は不要です。

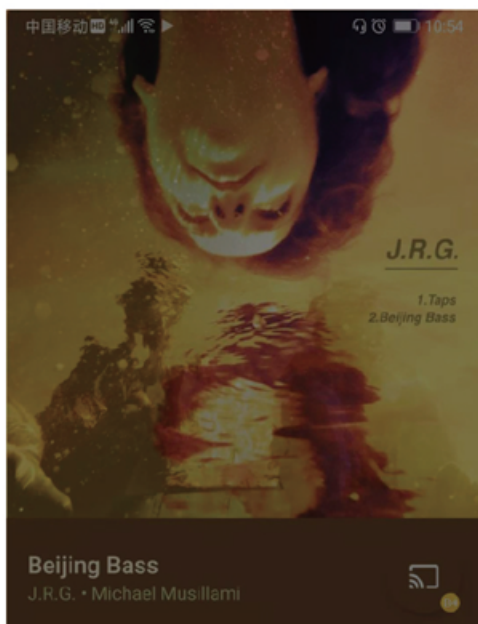


2:コントロールアプリで音楽を再生する

DLNAのコントロールアプリを使い（推奨:Bubble UPnP,mconnect,Audirvana,JRiver）、Z1をDLNAレンダラーとして操作できます。Bubble UPnPを例に操作方法を説明します。



“Now Playing”ページのこちらのボタンをタップし、“Select renderer”ページを表示します。

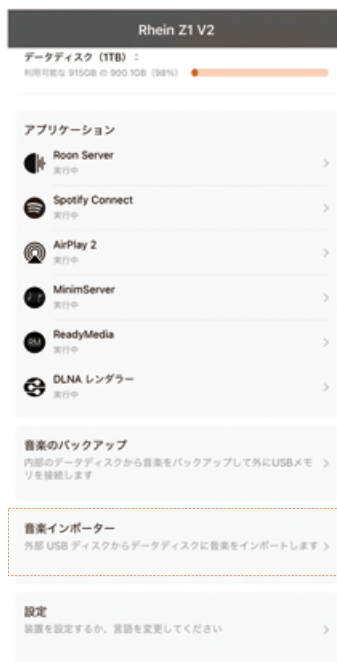


“Select renderer”ページ内の“Z1”を選択します。



内蔵ストレージへの音楽データのインポート

1-1: 外部USBディスクからインポート



“VitOS Manager”よりZ1の管理画面を開き、「音楽インポーター」をタップします。

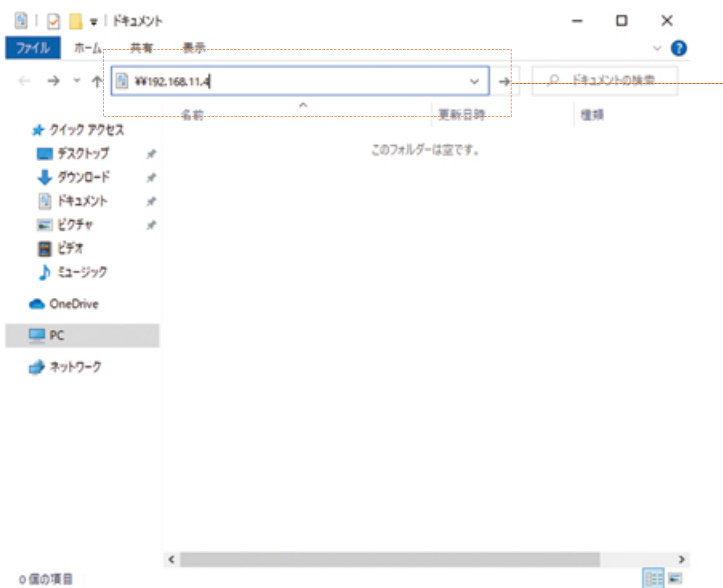


画面の指示通り、Z1背面のUSB3.0ポートにUSBディスク（USBメモリ、USB接続HDD等）を接続し、更新ボタンをタップしてください。

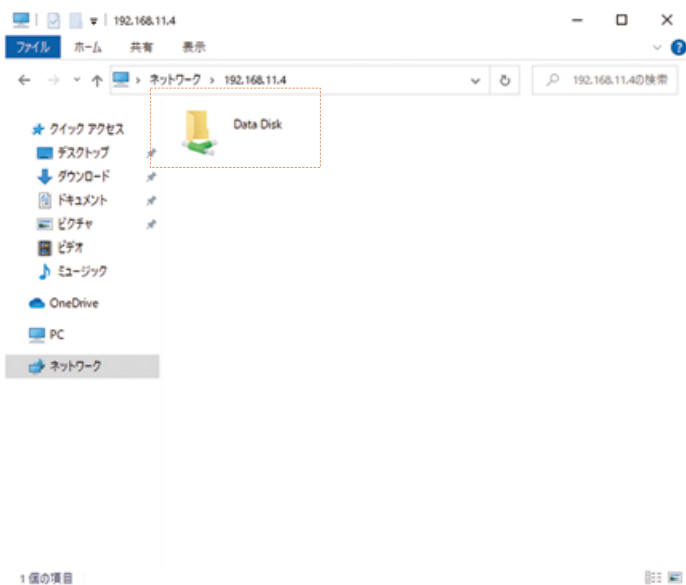


内蔵ストレージへの音楽データのインポート

1-2: パソコンからインポート



エクスプローラーのアドレスバーにZ1のIPアドレスを指定することでアクセスできます。「¥¥（円マーク2つ）」に続けてZ1のIPアドレスを入力してください。IPアドレスはVitOS Managerのデバイス管理画面トップにあるデバイス情報で確認できます。



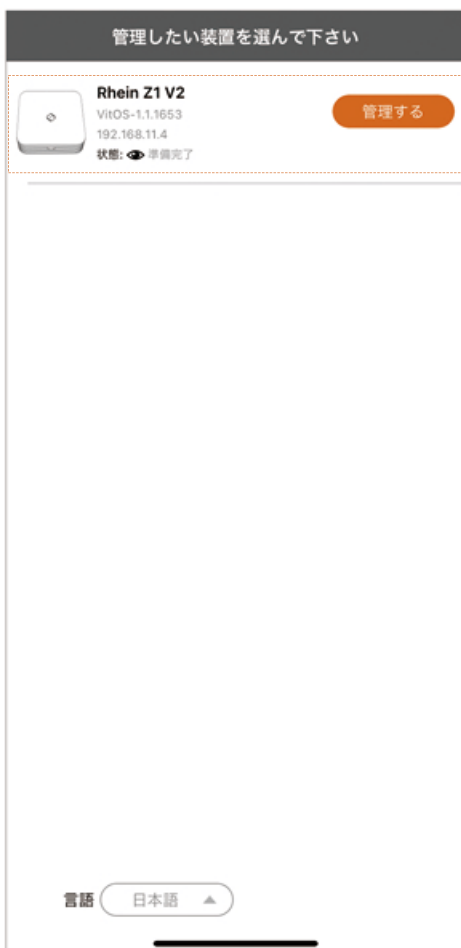
Data Disk内に音楽データをコピーしてください。



内蔵ストレージへの音楽データのインポート

2-1:ReadyMediaのインストール

最初に、お使いのiOS/androidデバイスに“VitOS Manager”をインストールし、デバイスをZ1と同じネットワークに接続します。Z1の電源を入れ、“VitOS Manager”を開くと、次の画像のように、VitOS Manager上でZ1が見つかります。



“管理する”をタップします。

Rhein Z1 V2

データディスク (1TB) :

利用可能な 915GB の 900.1GB (98%)

アプリケーション

-  Roon Server
インストールされていない >
-  Spotify Connect
インストールされていない >
-  AirPlay 2
インストールされていない >
-  MinimServer
インストールされていない >
-  ReadyMedia
インストールされていない >
-  DLNA レンダラー
インストールされていない >

音楽のバックアップ

内部のデータディスクから音楽をバックアップして外にUSBメモリを接続します >

音楽インポーター

外部 USB ディスクからデータディスクに音楽をインポートします >

設定

装置を設定するか、言語を変更してください >

アプリケーション内の"ReadyMedia"をタップします。



ReadyMedia



状態: インストールされていない

インストール

"インストール"をタップするとReadyMediaをZ1にインストールします。

ReadyMedia (以前はMiniDLNAと呼ばれていました) は、VitOS デバイス用のデータディスク付き DLNA サーバである。この VitOS 装置に ReadyMedia をインストールした後、DLNA 対応の機器やソフトウェアを使ってデータディスクの音楽を閲覧したり、再生したりすることができます。

[\[もっと詳しく知りたい\]](#)

[\[ビューライセンス\]](#)



内蔵ストレージへの音楽データのインポート

2-2: 音楽データのスキャン



ReadyMedia設定内の“音楽ファイルを再スキャン”をタップします。内蔵ストレージにコピーした音楽データをスキャンし、再生が可能になります。

2-3: トランスコード設定



ReadyMedia設定で音楽データをトランスコードすることができます。デフォルトはCD品質（44.1KHz/16bit）のWAVになっています。再生環境に合わせて、“トランスコードしない”、“CD品質”、“カスタム”から選択してください。

選択後、応用をタップすると設定が反映されます。



Roos Serverの使い方

1: Z1にRoos Serverをインストール

最初に、お使いのiOS/androidデバイスに“VitOS Manager”をインストールし、デバイスをZ1と同じネットワークに接続します。Z1の電源を入れ、“VitOS Manager”を開くと、次の画像のように、VitOS Manager上でZ1が見つかります。



“管理する”をタップします。

Rhein Z1 V2

データディスク (1TB) :

利用可能な 915GB の 900.1GB (98%)

アプリケーション

-  **Roon Server**
インストールされていない
-  **Spotify Connect**
インストールされていない
-  **AirPlay 2**
インストールされていない
-  **MinimServer**
インストールされていない
-  **ReadyMedia**
インストールされていない
-  **DLNA レンダラー**
インストールされていない

音楽のバックアップ

内部のデータディスクから音楽をバックアップして外にUSBメモリを接続します >

音楽インポーター

外部 USB ディスクからデータディスクに音楽をインポートします >

設定

装置を設定するか、言語を変更してください >

アプリケーション内の“DLNAレンダラー”をタップします。

Roon Server



状態：インストールされていない

インストール

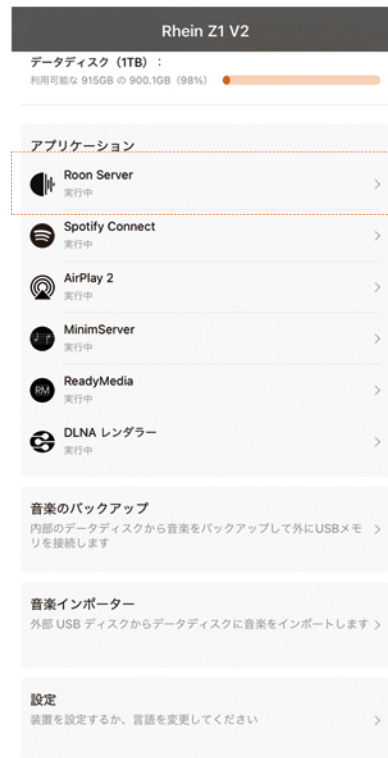
“インストール”をタップするとRoon ServerをZ1にインストールします。

Roon Server は、音楽とやり取りするためにまったく異なるアプローチをとる音楽管理および再生ソリューションです。スプーンシートのようにあなたの音楽を見るのではなく (iTunes や他のほとんどすべてのメディアシステムのように)、Roon はクレジット、アーティストの関係、ジャンル、歌詞、コンサート/ツアーの日程、アートワークを使った非常に豊富な非リストベースの体験を提供します。そして、あなたのライブラリの有益なナビゲーションと探査を可能にするためにもっと。

この装置に Roon Server をインストールするには、上の「インストール」ボタンをクリックしてください。

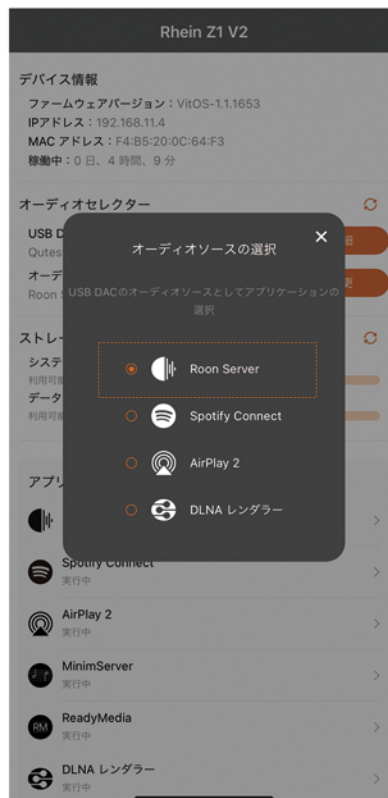
[\[もっと詳しく知りたい\]](#)

インストールが終わると、下記画像の通り、Roon Serverの状態が“実行中”になります。Roon Serverページ、設定画面のトップページのどちらも実行中になります。これでRoon Serverがインストールできました。



Roonを使用する前に、設定画面のトップページにある“オーディオソース”を“Roon Server”に変更してください。

※ファームウェアバージョン：1.2.4337以降では、オーディオソースの切り替えが自動になっているため、この操作は不要です。

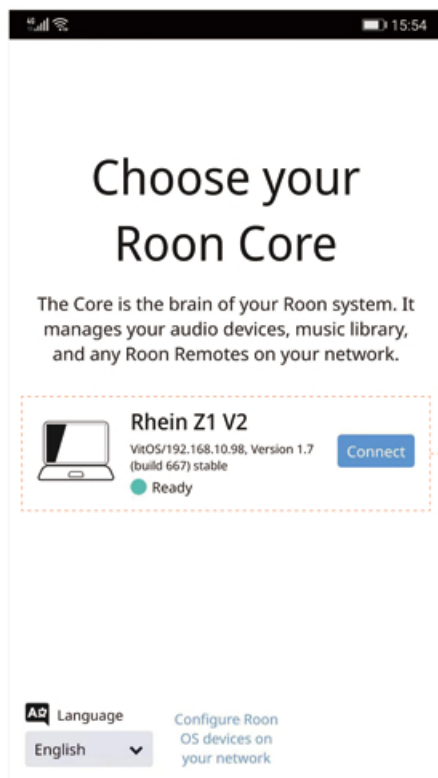


2:Roon Remote appのセットアップ

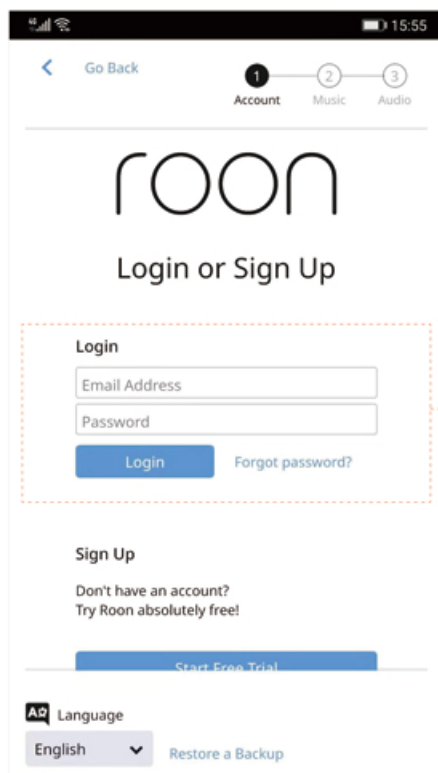
Roon Remote appを使用して、Z1を接続・操作することができます。まず最初に、お使いのモバイルデバイスに対応したRoon Remote appをインストールしてください。

Z1の接続とRoonアカウントへのログイン

Roon Remote appを開き、“Rhein Z1 V2”が表示されるまでお待ち下さい。Z1が表示されたら、“Connect”をタップしてください。Z1に接続し、Roonアカウントのログインページが表示されます。



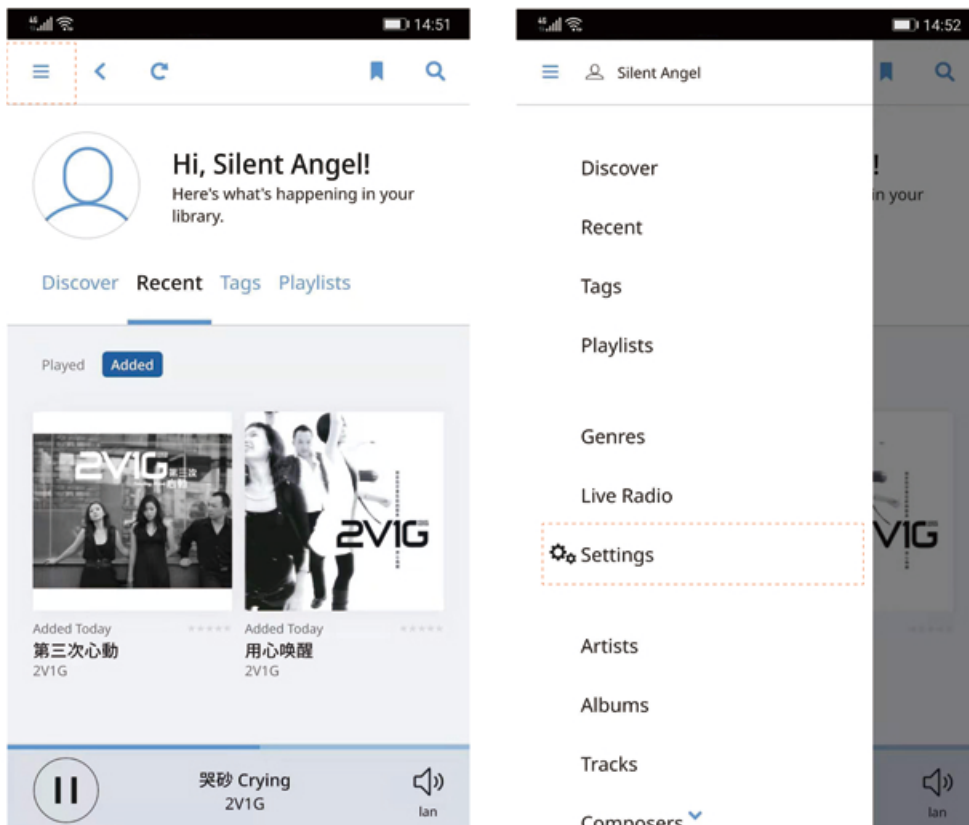
“Connect”をタップしてください。



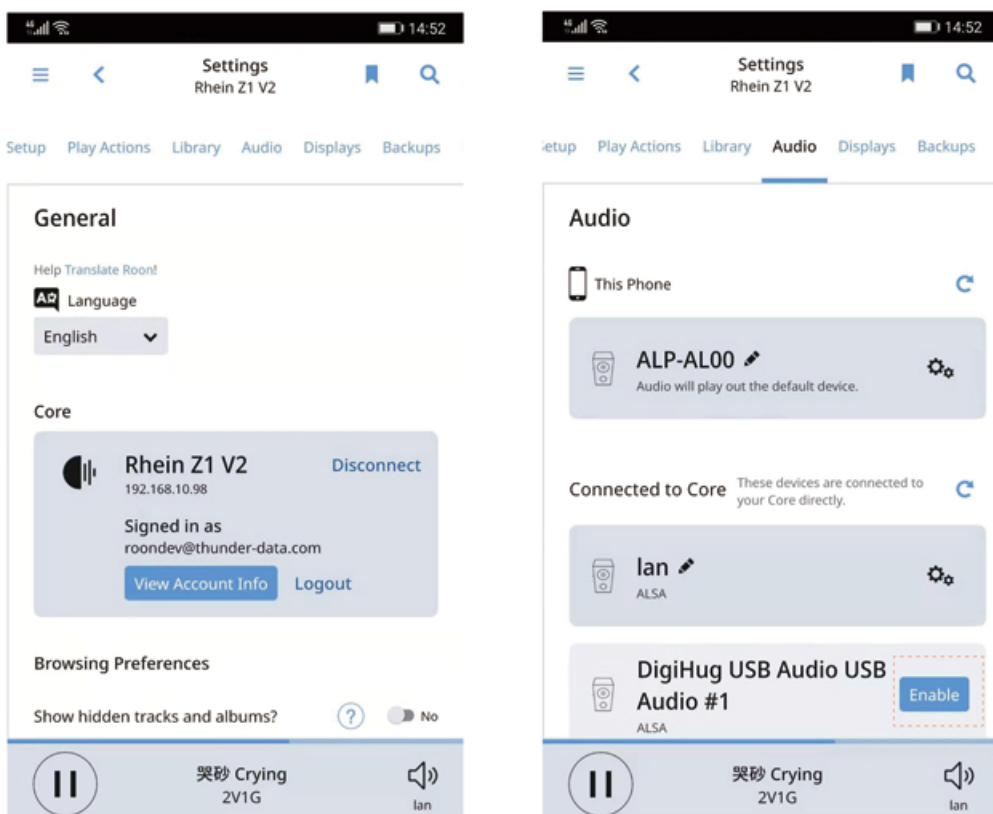
メールアドレスとパスワードを入力し、Roonアカウントにログインしてください。

Z1に接続したDACから出力する

左上にあるメニューボタンをタップし、“Settings”を選択し、設定ページに入ります。

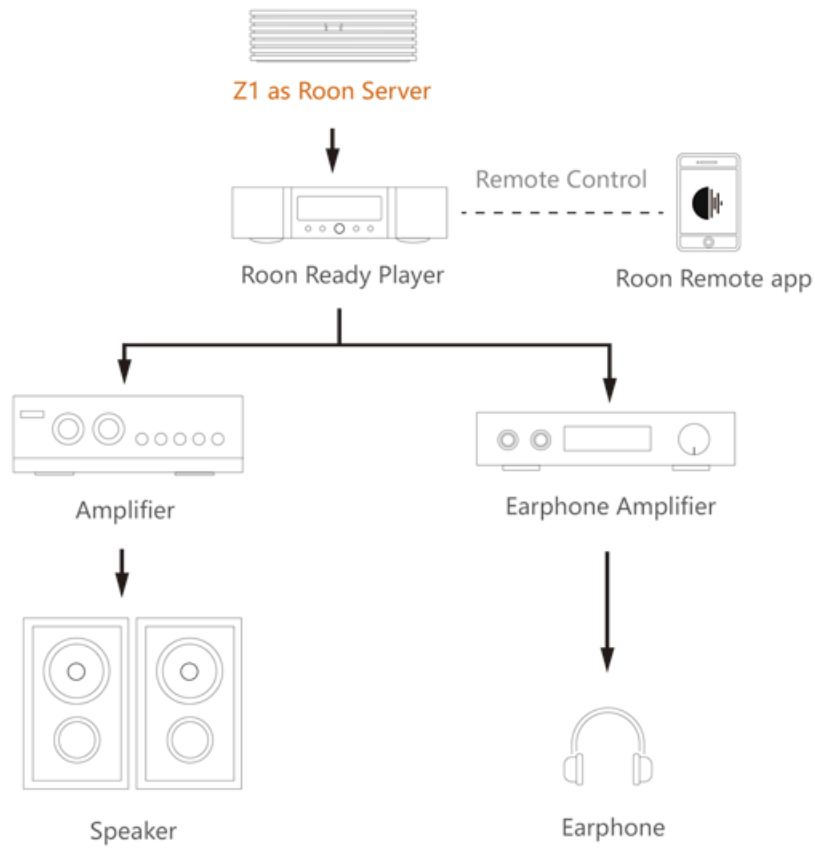


設定ページ上部のメニューから“Audio”を選択し、Audio設定ページに入ります。“Connected to Core”の下に、Z1に接続したDACが表示されるので、“Enable”をタップしてください。



接続例

■Z1をRoon Serverとして使う場合



■Z1をRoon Server、Roon Playerとして使う場合

